

# ICT 通信

第23号



青梅市立第六小学校研究部

発行者 研究部 猪野郁也

発行日 令和3年10月6日(水)

## 「Google Earth」を活用した社会科の授業

「Google Earth」を活用して社会科の授業を行いました。活用できた場面を紹介します。

### ○「学校周辺の様子」を知る

学校周辺の地域巡りを行った後、次の時間に教室内で発見したものを紹介し合うときに、復習を兼ねて「Google Earth」で実際に歩いたコースを辿りました。歩きながらでは白地図にメモしきれなかった箇所を見つけ、改めて記入することができます。特に初日は天候に恵まれず、途中で雨が降ってしまったため視界が悪い中での調査でしたが、アプリを使って復習することで当日には見つけられなかった気づき子供たちは得ることができました。



### ○「青梅市の様子」を知る

市内の様々な地域の様子を学ぶ際にも「Google Earth」を活用することで学習を進めることができました。学習の際には、みたけ山や三ッ原工業団地などとその周辺を地図上で散策し、それぞれの地域の違いを実感できました。また、青梅駅と河辺駅の前の風景を映したタブを並べて、それぞれの違いや特徴について考えることもできました。



## ○「店ではたらく人と仕事」を知る

スーパーマーケットに並んでいる商品がどこから来るのか確かめる活動を行う際に活用しました。事前に教員が「新しいプロジェクト」を作成し、クラスルームに URL をアップしておくことで、1つのマップを子供たちが共同で編集することができるようになります。子供たちはチラシに載っている商品の産地を入力し、商品の名前でプロジェクトに位置を追加することで、地図上にピンの形で産地を視覚化することができます。クラス全員でピンをさし終わった後、ピンの位置を確認することで、日本中だけでなく世界中から商品が集まっていることに気づくことができました。

